

金属材料の水素分析・水素脆化評価方法と水素脆化メカニズム

日時
2018年 12月10日 (月)
10:30 ~ 16:30

受講料

1名 44,000円+税
2名以上1名 40,000円+税

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線(緩行線)
地下鉄東西線(A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかでお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

講座のポイント

- ・金属と水素の物理化学的作用の理解
- ・水素脆化メカニズムの理解
- ・水素分析法、水素脆化評価法の習得
- ・最新の研究や動向を解説

講師 上智大学 理工学部 機能創造理工学科 教授 博士(工学)
高井 健一氏

Study and Learning

- ・金属と水素の物理化学的性質の基礎事項
- 1. 金属(bcc, fcc, hcp)中の水素の固溶
- 2. 金属表面での水素の吸着、侵入過程
- 3. 金属中の水素拡散
- 4. 金属中の水素トラップサイト

・水素分析法の特徴・注意点

- 1. 昇温脱離法
- 2. 水素可視化方法

・水素脆化メカニズム

- 1. 水素脆性とは
- 2. 水素脆性の特徴
- 3. 内圧説
- 4. 格子脆化説
- 5. 局部変形助長説
- 6. 空孔凝集説

・金属中の水素存在状態と脆化メカニズム解明へ向けた最近の研究

- 1. bcc金属(鉄鋼材料等)の水素存在状態と水素脆化
- 2. fcc金属(ステンレス鋼、アルミニウム等)の水素存在状態と水素脆化

Solution and Consulting / 質疑応答

【事前アンケートのご質問事項について解説・指導致します】

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書

金属材料の水素分析・水素脆化評価方法と水素脆化メカニズム

セミナーコード

1101-181210

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2018/12/10 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課(正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
				()
			FAX	-
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				